

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	67	施設という閉ざされた空間で、自らメッセージを発することが難しい利用者様に、いかに暮らしを楽しんでいただけるか。	利用者様から見て、頼りになる職員を目指す。	決められたサービスの提供を終えたら、後は何もしないのではなく、利用者様の中に入っていき、お話等をして楽しんでいただく。その中で不安事等があれば、傾聴する。	3か月
2	68	家族からすれば施設の中の様子が見えにくい。自分の親がお世話になっている手前、なかなか思っている事も言いにくく、不安だと思われる。	発信力を持って、家族にアピールしていく。	月に一度、家族に担当者からお手紙を出しているが、断片的にしか伝わっていない印象を受ける。コロナやインフルエンザ等に気を付けながら、利用者様と直接触れ合う機会を設け、発信していく。	6か月
3	64	外部との触れ合いの機会が少なく、閉鎖的になってしまう。	外部と協力しながら、交流の場を設ける。	コロナが第5類に移行した後も制限は続いているが、役場や社会福祉協議会とも連携を取り、外部と交流する機会を作っていく。	12か月
4	66	職員の働き方にムラがある。	いつ、どの職員と組んだとしても、周りの職員や利用者様に不安感を与えないくらい、信頼関係を構築する。	人間なので、好き・嫌いは必ず出てくるが、プロとしての意識を持ち、勤務時間内は同じ目的を持った職員として働いていけるような意識を作る。	12か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。